

平成27年12月13日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

【ソプラノ・ミサ】

司 会 : 深谷浩昭兄
奏 楽 : 片岡立子姉
祈 禱 : 下岡晶子姉
賛 美 : 新聖歌99番「まぶねの中に」1・2・4節
主の祈り :
聖書箇所 : ルカによる福音書1章26節～31節 (P.83)
(聖書朗読: 持田樹里姉)

メッセージ : 「新しい命」菅原 岳牧師

ソプラノ・コンサート: 重兼あゆみさん・秀平雄二さん(ピアノ)

賛 美 : 新聖歌75番「神の御子は」1・3節
頌 栄 : ハレルヤ・アーメン(新聖歌233番)
キャンドル・サービス 新聖歌77番「きよしこの夜」
祝 禱 :
報 告 :

【瀬戸ニュース】

- ◇ 本日は重兼あずささんと秀平雄二さんをお迎えしての、クリスマス・ソプラノコンサートです。お二人に感謝いたします！
- ◇ 今週土曜日 13 時半よりジョイキッズ・クリスマスが持たれます。奉仕者募集中です♪祝福をお祈り下さい！！
- ◇ 来週12月20日(日)は川添由梨香さんをお迎えしてのクリスマス礼拝&ピアノコンサートです。覚えてお祈り下さい。
- ◇ 2016 年聖画カレンダーが限定数販売中。1部200円です。
- ◇ ランチ代は小学生以上は200円、未就学児は無料です。
- ◇ 祈禱会 木曜10時半、 リニューアル祈禱会 土曜11時15分
- ◇ 祝大 Aコース 黙示録4章～黙示録10章
Bのコース ヨエル書～ミカ3章

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成27年12月20日] [クリスマス・ミサ]
[司会: 菅原岳牧師・いのり: 加藤由美子姉・聖書朗読: 持田樹里姉]
[ピアノ: 米田香姉・リード: 菅原岳牧師]
[アシスト: 鄭 恵真姉、大神雄兄]
[献金: 大神久美姉・持田樹里姉] [受付: 赤塚孝子姉・太田昌子姉]
◇PA: 平松章治兄、岡前順勝兄 ◇週報編集: 菅原岳牧師
◇ホームページ編集: 大神真伸兄 ◇ジョイキッズ&分級 (9:30)



野坂昭如さんがお亡くなりになりました。戦後日本のリベラル派を代表する知識人の1人でした。私にとっては「ソ・ソ・ソクラテスカプラトンか、ニ・ニ・ニーチェかサルトルか、み～んな悩んで大きくなった」とテレビCMで歌っておられた印象が強いのですが…。青年達には「何のコッチャ？」でしょうが、小学生低学年の私はこのCMで「ソクラテス」や「プラトン」、そして「ニーチェ」と「サルトル」という哲学者の名前を知りました。と言いましても「へ～、偉そうな人達も悩んで大きくなったんだ～」というような感想しか抱きませんでした…。そんな野坂さんは死ぬ間際まで悩んでいたのかもしれませんが。野坂さんの作品「火垂るの墓」はご自分の体験を書かれたものでした。一見、ハチャメチャに見える野坂さんの生き方でしたが、「平和への欲求」は一貫していたようです。

今年の8月の野坂さんの文章です。『戦争は人間を無茶苦茶にしてしまう。人間を残酷にする。人間が狂う。だが人間は戦争をする。出刃包丁で殺そうが、核兵器で殺そうが同じことである。戦場で殺し合いをする兵士が、家では良き父であり、夫である。これがあたり前なのだ』『戦争で多くの命を失った。飢えに泣いた。大きな犠牲の上に、今の日本がある。二度と日本が戦争をしないよう、そのためにどう生きていくかを問題とする。これこそが死者に対しての礼儀だろう。』

第一次世界大戦中の1941年の12月24日から25日にかけて最前線で対峙していたイギリスとドイツの兵士達の間でドイツ語と英語で「きよしこの夜」が歌われ、「クリスマス休戦」が奇跡的に生まれました。戦死者の合同埋葬式を行ったほか、チョコレート等の品物やサインの交換、記念写真の撮影などがなされました。そこにいた兵士達は皆、家に帰りたい誰かの父親や息子だったのでしよう。願わくは私達の国が平和を愛する先進国であり続けられますように。そして世界がクリスマスのこの時、平和を求めて行動出来るように祈りましょう。

それが現代を生きる私達の最低限の礼儀なのでしょう。

瀬戸カルバリーチャペル担任牧師 菅原 岳

御使が「恵まれた女よ、おにきて言った、主があなたと共にいられます。」
(ルカによる福音書一章二八節)